

食育推進事業 令和6年度実績および令和7年度計画 (各主体事業)

資料1-1  
令和7年8月28日  
令和7年度  
仙台市食育推進会議

No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針									
									1 健康				2 食文化			3 環境			4その他		ア	イ	ウ					
		団体	実施主体【任意】						1-1 朝食の習慣化	1-2 食事バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食材・郷土料理	2-2 進和・習慣化の理解促	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境負荷の小さい食	4-1 ことその他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ ー的組織横断	ウ 日常代へデジタル化							
1	継続	仙台市医師会	-	仙台市立学校健診 糖尿病精密検査 生活習慣病検査 貧血検査	小・中学生	・学童を対象とした各健診後、児童・生徒及び保護者に対して、校医、専門医による食の改善、運動等事後指導を実施する。また、円滑に指導等ができるよう関係者と連携を図る。	糖尿病精密検査 6/25～6/28 34名 生活習慣病検査 10/22～10/25 205名 貧血検査 8/26～10/18 897名	糖尿病精密検査 6/24～6/27実施 生活習慣病検査 10/21～10/24実施 貧血検査 8/25～10/17実施	○	○			○															
2	継続	仙台市医師会	-	食物アレルギーへの対応事業	保育士、栄養士、教諭等	・食物アレルギー対応の手引き（改訂版）を活用し、指導・助言を行う。	通年 嘴託医・管理校医等が求めに応じて指導・助言を行った。	通年 嘴託医・管理校医等が求めに応じて指導・助言を行う。					○															
3	継続	仙台市医師会	-	妊婦健診事業	妊婦健診受診者	・妊婦健診の中で貧血や妊婦高血圧症候群、妊娠糖尿病などの異常を早期発見し、妊娠期間中の食事指導などを行う。また、支援が必要な妊婦については行政と連携し積極的に指導する。	通年 延べ72,161名	通年実施		○		○																
4	継続	仙台市医師会	-	産婦健診事業	産婦健診受診者	・産婦健診の中で貧血や妊娠高血圧症、妊娠糖尿病などの産婦に直後の食事指導などを行う。また、支援が必要な産婦については、行政を連携し積極的に指導する。	通年 延べ10,651名	通年実施		○		○																
5	継続	仙台市医師会	-	乳幼児健診事業	乳幼児健診受診者	・乳児健診（2か月、4～5か月、8～9か月）、1歳6か月児、3歳児健診において、乳幼児の健康的な成長を促すための栄養指導を実施する。	通年 乳児健診 延べ18,612名 1歳6か月児健診 6,739名 3歳児健診 7,448名	通年実施		○	○	○	○															
6	継続	仙台市医師会	-	特定健診・特定保健指導事業	一般市民	・特定健診、基礎健診における問診や結果に応じて、生活習慣病等の「疾患に関する判定」「メタボリックシンドロームに関する判定」及び「特定保健指導に関する判定」を行い、保健指導により個々の生活習慣改善の行動目標を設定（身体活動量・食事バランス）し、健康的な生活習慣を身に付けられるよう、引き続き登録医療機関で指導する。また、検査項目の一つ血清尿酸は、動脈硬化・脳卒中・心臓病・腎臓病の危険因子であり、肥満との関連性もあることから、各種疾患の早期発見・早期治療に引き続き努めたい。	令和6年6月～令和7年3月 特定健康診査 57,183名 基礎健康診査 50,678名 動機付け支援 600名	令和7年6月～令和8年3月実施		○	○																	
7	継続	仙台歯科医師会	-	妊婦歯科健診・フッ化物歯面塗布事業の一體的取り組み	妊婦・乳幼児期	妊婦自身の歯と口の健康づくり実践支援のみならず、乳歯萌出期からのむし歯予防と口腔機能育成の重要性を啓発するとともに、フッ化物歯面塗布事業を周知する。さらに、かかりつけ歯科医機能の充実を図り、妊娠期から乳幼児期まで切れ目のない歯と口腔の健康づくりを推進する。	妊婦歯科健康診査の受診率は44.3%、フッ化物歯面塗布助成事業は47.9%と前年度より増加傾向にある。	両事業のさらなる受診率向上を目指す。また、食育推進計画（第3期）ならびに歯と口の健康づくり計画（第3期）の「目指す姿」の達成に向け、こどもの口腔機能育成支援を担うため関係各所と連携する。		○	○	○	○						○	○	○							
8	継続	仙台歯科医師会	-	市民向け冊子の配布	一般市民	・冊子名：スマイル（食の大切さや、より良い食事に関する啓発）	R7年3月発行	R7年度内に発行 紙媒体の配布では啓発できる範囲が限定される。本年度はより広範囲・効果的に啓発できるようにデジタル化を図ることを目的とする。	○	○	○	○							○		○							
9	継続	仙台歯科医師会	-	学校・幼稚園・保育所での講話	児童・職員	・歯科校医、園医、嘱託医による講話などでの食事指導	各歯科校医や嘱託歯科医が担当校にて実施	通年			○	○							○	○								

No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針				
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他					
		団体	実施主体【任意】						1-1 朝食の習慣化	1-2 食事バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食	2-2 進和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材	3-2 品環境周知	3-3 食品ロス削減	4-1 この他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ ー体的組織横断	ウ 時代へデジタル化への対応		
10	継続	仙台歯科医師会	-	支援学校での摂食指導	児童・保護者・職員	・鶴谷特別支援学校、県立視覚支援学校への摂食指導研修会への講師派遣	鶴谷特別支援学校(6月20日)	通年					○	○					○	○			
11	継続	仙台歯科医師会	-	フッ化物歯面塗布助成事業	乳幼児	乳幼児期からの正しい食習慣の確立への啓発	通年で実施 R6年度受診率47.8%	通年で実施					○	○							○		
12	継続	仙台歯科医師会	-	口腔機能低下症に関する学術講演	歯科医師及び関連職種	・オーラルフレイルに対応する「口腔機能低下症」に対する学術講演	実績なし	現在検討中		○	○	○								○	○		
13	継続	仙台歯科医師会	-	歯と口腔の健康づくり教室	園児	・若林区保健福祉センターと若林地区の仙台歯科医師会会員が連携して、「歯と口の健康づくり教室」の実施。	再開における関係団体と調整していたが開催に至らず	本年度、再開における関係団体と調整中			○	○	○							○	○		
14	継続	仙台歯科医師会	-	地域住民への啓発活動	一般市民	・各区民まつり等での食に対する啓発	みやぎの・まつり（10月20日） 太白区民まつり（10月20日） 宮城地区まつり（10月27日）	各地区の区民祭り等の再開に呼応して、地域地区班の会員歯科医師から再開の希望が届いている。地域の歯科医師・行政と連携して実施に向けて準備に入っている。			○	○	○							○	○		
15	新規	仙台歯科医師会	歯と口の健康づくりネットワーク会議	「(仮) 食べる力のサポートブック」の検討	乳幼児の健康を支援する関係者	こどもの健康を支援する様々な職種と連携し、乳幼児期からの「口腔機能の育成・獲得」を目指すうえで、共通で活用することができる媒体「(仮) こども食べる力のサポートブック」の作成を検討する。	-	こどもの口腔機能の発達を支援するため仙台市に新設される「こども食べる力のサポートブック検討部会」に参加し、媒体の制作と活用に向けた検討を行う。			○	○							○	○			
16	継続	仙台歯科医師会	市民のつどい実行委員会	歯と口の健康週間市民のつどいWEB開催	一般市民	【市民のつどい実行委員会】 ・歯科医師会と各関係団体が連携して実施 ・コロナ禍でのニューノーマルを考慮してWEB開催 ・むし歯・歯周病予防のための生活習慣 ・健康長寿のための食生活とお口の働き ・市内小中学校での取り組みの紹介 など	6月4日から10月末までサイトの公開 <a href="https://s-da.or.jp/shimin-tudoi">https://s-da.or.jp/shimin-tudoi</a>	コロナ後の実開催としては2年目となる。実行委員会各主体が市民啓発を体験コーナーを中心として実施した。食育の分野では特に宮城県栄養士会からこどもから高齢者までライフステージに応じた栄養に関する啓発をおこなった。また、オーラルフレイルに関連付けて舌圧測定や咬合力の検査なども体験してもらった。市民公開講座では高齢者のオーラルフレイルについて講演を行った。また、食生活を始めとして口腔機能について問題となっているこどものお口ばかん（口腔機能発達不全）について吹き戻しを用いた啓発を行った。今回は市内の歯科衛生士養成校のうち3校が現地参加し市民に対して啓発を行ったことも評価できた。また、6月4日から10月末までWEB版として公開している。 <a href="https://s-da.or.jp/shimin-tudoi">https://s-da.or.jp/shimin-tudoi</a>			○	○	○	○						○	○	○	
17	継続	仙台歯科医師会	歯と口の健康づくりネットワーク会議	みんなで子育てフェスタ&健康フォーラム	一般市民	こども・子育て世代や働き盛り世代、高齢者世代が双方のイベントを体感し、世代間交流を行うことで、地域社会における子育てや健康に対する気運醸成につながるイベント	歯と口の健康づくりネットワーク会議メンバーとして参加（R7年1月11日）主体として活動したのは、東北大大学院歯学研究科、東北大大学歯学部歯科医療研究会、仙台歯科医師会、仙台市であった。仙歯としては①こどものお口ばかん（口腔機能発達不全）への啓発として吹き戻しを用いた的当て②普段の飲み物の酸性度を問うクイズを行った。①では実際に吹き戻しができないこどももいたり、口腔機能発達不全についてそのワードもまだ十分に浸透していないことがわかり今後の啓発活動の必要性が実感できた。「子育てフェスタ健康フォーラム」は乳幼児をつれた親子から高齢者まで幅広い世代が参加しているイベントであり、特に会場に児童生徒の姿が見れたことは大変意義のあることである。	R7年10月開催に向けて準備			○	○									○	○	○

No	担当		事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針				
								1 健康				2 食文化		3 環境			4その他					
	新規・継続	団体	実施主体【任意】					1-1 朝食の習慣化	1-2 食事のバランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元活用食・郷土料理	2-2 進和食文化の理解促進	3-1 の地元活用食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境周知の小さい食	4-1 ことの他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ ー体的組織横断	ウ 時代へデジタル化への対応		
18	新規	仙台歯科医師会	仙台市歯と口の健康づくりネットワーク会議ハローフロスプロジェクト部会	ハローフロスプロジェクト	青年層	健康について忙しい壮年期・豊かな高齢期を健康に迎える習慣習得のためには青年期からの歯と口の健康づくりが重要である。そのために当事者である大学生などの20~30歳代をその活動の主体として歯と口の健康啓発活動を行っていくプロジェクトである。東北大学・仙台市・仙台歯科医師会の協働プロジェクトである。	啓発活動の要となる啓発媒体の作成を行った。具体にはデンタルフロスをつけたリーフレットを作成し、一部配布を行った。	啓発媒体であるリーフレットを作成し春の検診や学園祭を中心に配布・啓発活動を行う予定である。また特定の集団を選定し経時的に行動変容が起こるかを検討する。さらに同事業の高等学校への展開も模索中である。				○						○	○	○	○	
19	継続	宮城県栄養士会	-	いい日いい汗栄養まつり	一般市民	・健康づくり関係団体と連携し、最新の健康・栄養情報を食事診断、健康・栄養相談、栄養講話等、実際の体験を通じて普及啓発 ・生活習慣病予防、フレイル予防のリーフレットを県民・市民に配布(栄養士会会員全員から公募して県民市民に配布)	健康づくり提唱のつどい ①地域特性を活かしたフレイル予防のためのウォーキングのすすめ ②腸から整えるカラダとこころ ③みんなで楽しくフレイル予防	県民向け講演会 本当は怖い子どもの肥満と生活習慣病 6月1日(日)	○	○		○										
20	継続	宮城県栄養士会	-	健康づくり公開講座	一般市民	・最新の健康・栄養情報を、一般市民に普及、啓発する。	仙台市介護予防月間共催イベント①栄養学から見たフレイル予防 令和6年11月22日 高森市民センター②フレイル予防とラフターコガ 令和6年11月21日 福沢市民センター 合計82名参加	仙台市介護予防月間共催イベント 根白石市民センター 11月20日(木)	○	○		○										
21	継続	宮城県栄養士会	-	仙台市介護予防月間	一般市民	元気力アップフェスティバル	11月24日 たいはっくる 栄養相談 51名	11月30日開催	○	○	○	○										
22	継続	宮城県栄養士会	-	栄養ケア・ステーションにおける栄養指導・講演会等への講師派遣	一般市民	フレイル予防のための栄養について	シニア世代向け介護予防栄養講座26か所(令和5年6月~令和6年3月)	シニア世代向け介護予防栄養講座25か所(令和6年6月~令和7年3月)	○	○	○	○										
23	継続	宮城県栄養士会	-	マスコミや執筆による情報提供	一般市民	・栄養相談(げんき俱楽部「杜人」の質問回答など)や、食の情報提供など	なし	未定	○	○		○										
24	継続	宮城県栄養士会	-	宮城県ケアフェスタ	一般市民	宮城県ケアフェスタ	なし	未定	○	○	○	○										
25	継続	宮城県栄養士会	-	食材王国みやぎ伝え人	児童とその親	・身近な食材を使用した子どもでも作れるメニューでの調理実習	宮城県伝え人講座 気仙沼市立面瀬小学校(11月20日) 岩切小学校(6月20日)大河原児童館(8月6日)	宮城県伝え人講座 気仙沼市立面瀬小学校 11月18日(火)	○	○	○	○										
26	継続	宮城県栄養士会	-	子育て応援団すこやか2023	一般市民	・ミヤテレ主催 食育に関する案件 離乳食・幼児食相談、ゲーム、塗り絵など	子育て応援団すこやか2024(10月20日)セキスイパー・アリーナ①朝ごはんを食べよう ②バランスよく食べよう	未定	○	○	○	○										
27	継続	宮城県栄養士会	-	福祉に関する研修会	一般市民	・経口移行に関する管理栄養士の役割、要介護高齢施設における嚥下調整食について	令和6年度開催なし	未定	○	○	○	○										
28	継続	宮城県栄養士会	-	地域包括ケアシステム協働プロジェクト	一般市民	・はればれ健康フェスタへの参加	はればれ健康フェスタ(9月8日) web開催	未定	○	○	○	○										
29	継続	宮城県栄養士会	市民のつどい実行委員会	歯と口の健康週間市民のつどい	一般市民	【市民のつどい実行委員会】 ・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施する市民のつどいにて、食の大切さについて啓発(今年度は対象者を子ども達とする。「元気っ子に大切な栄養ってなーに?」動画公開)	歯と口の健康週間 市民のつどい 6月8日 食べる力をサポートする	歯と口の健康週間 市民のつどい (6月1日)	○	○	○	○										

No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針				
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他					
		団体	実施主体【任意】						1-1 朝食の習慣化	1-2 食事のバランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元食材・郷土料理	2-2 進和食文化慣化の理解促	3-1 の地元食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境負荷の小さい食	4-1 ことその他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ ー体的組織横断	ウ 時代へデジタル化新たな		
30	継続	仙台市小学校長会	小学校	「食育」の実践研究	教諭・栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小学校教育研究会学校給食部会の取組として、研究主題「食を大切にする心をはぐくみ、健全な心身を養う食育の推進」を掲げ、実践研究を行う。	年間3回の研究全体会を開催 ①5/29 総会・研修会 健康教育課指導主事による講話・研究の方向性の共通理解 ※R6は、「健やかな体の育成プラン2024」をもとに取組の方向性を確認し、地区テーマに反映させた ②11/6 地区ごと情報交換 地区のテーマに沿った取組を各校から発表・情報交換 ③2/12 各地区代表校の発表 発表に対する健康教育課指導主事の指導講評 ※各校の発表データをアーカイブ化し共有財産とする	年間3回の研究全体会を開催 ①6/25 総会・研修会 講演会「給食時間を利用した食育の授業展開について」(調布市立杉森小学校長 濱松章洋氏)・研究の方向性の共通理解 ②10/22 地区ごと情報交換 地区のテーマに沿った取組を各校から発表・情報交換 ③2/4 各地区代表校の発表 発表に対する健康教育課指導主事の指導講評 ※各校の発表データをアーカイブ化し共有財産とする	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	継続	仙台市小学校長会 仙台市中学校長会	小・中学校	学校給食の充実・発展のための研修	栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会の中の、栄養教諭・学校栄養職員部会において、学校における食育の推進に向けて、児童生徒に対する食に関する指導の在り方や学校給食の充実について研究協議し、栄養教諭・学校栄養職員の資質向上を図る。	○全体では年間の研修計画のもと、講演会・施設見学・調理実習等の研修を行った。 ①4/17 総会・活動計画 ②9/10 新就立システム研修会（オンライン） ③9/13 「子どもの肥満と生活習慣病～小児科医の取り組み、学校の役割～」講師 宮城県立こども病院 虹川大樹氏 オンラインによる講演会 ④11/5 「特別活動・学級活動で行う食に関する指導について」講師 東筑紫短期大学教授 脇田哲郎氏 オンラインによる講演会 ⑤12/25 調理講習会「減塩への一步第2弾」杜の台所代表 川島洋子氏 ⑥2/7 反省会で8つの地区で実施した活動報告 ○仙台市を8つの地区に分け、それぞれの地区でテーマをもとに研修を実施した。食育推進の方策の他、献立開発、衛生管理等、実践的な取組を行った。	○全体では年間の研修計画のもと、講演会・施設見学・調理実習等の研修を行った。 ①4/15 総会・活動計画 ②7/31 宮城県栄養教諭・学校栄養職員研修会 ③8/18 施設見学 地場産物活用促進 ④9月 講演会予定 ⑤12/25 調理講習会「学校給食の減塩と地場産物活用促進」 ⑥2/6 反省会で8つの地区で実施した活動報告 ○仙台市を8つの地区に分け、それぞれの地区でテーマをもとに研修を実施する。食育推進の方策の他、献立開発、衛生管理等、実践的な取組を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	継続	仙台市私立幼稚園連合会	-	給食試食会と食事のバランスについての講座	園児・未就園児の保護者	・仙台私立幼稚園連合会の各地区研修部、推進委員会を通して各園の状況に合わせて実施・食に関心を持つ（食材の工夫、栄養のバランス、調理の仕方）	希望する保護者を対象に給食試食会を実施し、園児が食べているのと同じ給食を試食していただき、感想等を寄せていただいた。	左記の事業内容の通り実施する。	○	○	○	○											
33	継続	仙台市私立幼稚園連合会	-	おたよりやHPからの情報発信	園児・未就園児の保護者	・おたよりやHPを通して、野菜の栽培の様子を伝え、食育の取り組みを保護者に広報し、園児たちの活動の様子、声を紹介し、食育への関心を高めることに努めた。	食育推進会議で出た話題を、園のおたよりで2度にわたり紹介し、保護者への情報発信をおこなった。	左記の事業内容の通り実施する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
34	継続	仙台市私立幼稚園連合会	-	食べる事が楽しくなる食育	教諭・職員	・各地区毎の研修会において、食育推進計画の主旨、内容を伝え、今まで各園で実施してきた活動の見直しや、他の園はどんなことをやっているのか、情報交換の場を設ける	左記の事業内容の通り実施した。	左記の事業内容の通り実施する。	○	○	○	○											
35	継続	仙台市私立幼稚園連合会	-	食べることが楽しくなる食育	園児と保護者	・おいしいと感じること、体験することを重視し、また、食育情報として子どもの様子を知らせたり、食のマナーについて伝えていく	左記の事業内容の通り実施した。	左記の事業内容の通り実施する。	○	○	○	○	○	○									
36	継続	仙台市私立幼稚園連合会	-	偏食を減らすための取り組み	園児	・食材の作り立ち・旬・栄養素についてなど知ることで食事に対して関心が深まるようにする。 ・意欲的に食事を知るようになるにはどうすればいいか探る	左記の事業内容の通り実施した。	左記の事業内容の通り実施する。	○	○		○	○	○	○	○							
37	継続	仙台市私立幼稚園連合会	めるへんの森幼稚園・みやぎ幼稚園	食べる事が楽しくなる食育	園児	・作物を栽培、収穫し食べる体験	左記の事業内容の通り実施した。	西多賀幼稚園・ふくだまち幼稚園で実施する。	○	○	○	○	○	○									

No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針				
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他					
		団体	実施主体【任意】						1-1 朝食の習慣化	1-2 食事バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元食材・郷土料理	2-2 進和食文化の理解促進	3-1 の地元食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境負荷の小さい食	4-1 ことその他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ ー体的組織横断	ウ 時代へデジタル化への対応		
38	継続	仙台市保育所連合会	-	献立表、給食だより、保育参観などの働きかけ	保育所等入所児童と保護者	・保育所等の給食だより・保育参観での働きかけを通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。 ・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣や食文化等についての情報を発信する。	通年実施	通年実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
39	継続	仙台市保育所連合会	-	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	・乳幼児期の栄養管理、食事提供における給食管理、衛生管理等についての理解を深め、施設での実践に繋げる。	「小児の身体機能の発達と食行動について part2」「災害への備えと発災時の対応」 7月2日実施 参加者数181名	7月15日実施予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
40	継続	仙台市保育所連合会	-	保育所連合会給食担当者研修会	調理員・栄養士	・乳幼児期の栄養管理、食事提供における給食管理、衛生管理等についての理解を深め、施設での実践に繋げる。	「こどもの食べる機能の発達と安全な食事提供への配慮について」 8月8日実施 参加者数147名	8月19日実施予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
41	継続	仙台市保育所連合会	-	保育所連合会給食会研究委員会	栄養士	・研究テーマを設け、乳幼児の食育に関する研究・発表に取り組む。	「和食を身近に感じよう」～伝えたい食文化～ 和食を身近に感じ、家庭で和食を食べる機会を増やすことをねらいとして研究を行った。また、和食に関するリーフレットを作成し、連合会加入施設に在籍するこどもの家庭に配付した。	R6年度に引き続き「和食」をテーマとして研究を実施中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
42	継続	仙台市PTA協議会	-	PTA活動などを利用した啓発	小・中学生と保護者	・親子料理教室等の開催 ・給食試食会 ・栄養士さんの講話 ・ミニ菜園づくりなど	-	-	○	○		○	○		○	○		○	○		○		
43	継続	仙台市PTA協議会	-	地域行事での食育	小・中学生	・田植えや収穫などの農業体験活動	-	-					○	○	○	○							
44	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	あいごはんアイディア募集	組合員	組合員から寄せられたあいぶらんど商品を使ったアイディアを募集し、ホームページで紹介する。	R6年度は実施しませんでした。		○		○								○	○	○	○	
45	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	料理教室の開催		・こどもたちの豊かな食生活と健康のために、PB「あいシテル商品」をはじめとしたあいコープの食材を活用した試食会、料理教室を開催する。テーマ食材の生産者にも参加していただき、食の現場に学ぶ。	15回開催	地区ごとに農畜水産、加工品などから題材を選び、時には生産者と交流しながら調理を学ぶ場を作る。回数未定。				○							○	○	○	○	
46	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	食に関する学習会開催	組合員一般市民生産者	あいコープ商品を学ぶ食の学習会を、各地区委員会主催開催。	5回開催	前年度同様の活動を計画				○								○	○	○	○
47	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	生産者訪問（産地見学）	組合員	・生産者を訪問し、生産現場の様子、工夫などを知り、顔の見える関係を築く。	・4/6原木椎茸産地見学（登米市）46人 ・10/20ながめやま牧場見学ツアー（山形県）69人	4/12原木椎茸見学ツアー（実施済み） 9/15天童りんご園地見学ツアー 10/19ながめやま牧場見学ツアー				○						○					
48	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	地区委員会と地場生産者のタイアップ交流（種子の大切さを学ぶ活動）	組合員	・秋保たねまきプロジェクト（共催：鹿野小学校社会学級・食べ物変えたいママプロジェクトみやぎ） ・「仙台芭蕉菜のたねをつなごう」講師を迎えての学習会	・8地区委員会があいコープPB商品の中から、それぞれ1商品をテーマにし、産地見学や生産者交流をおこなってPB商品ガイドを作成。参加人数は100名 ・秋保たねまきプロジェクト（共催：鹿野小学校社会学級・食べ物変えたいママプロジェクトみやぎ）活動を5回 ・7月7日「秋保発！伝統野菜仙台芭蕉菜のたねをつなごう」と題して山形大学農学部教授の江頭宏昌さんを迎えた学習会を開催。34人が参加	たねまきプロジェクト5回開催予定 7/6「仙台芭蕉菜のたねをつなごう」開催予定。 講師は川島洋子さん（みやぎ在来作物研究会会長）				○	○						○	○	○	○	

No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針			
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他				
		団体	実施主体【任意】						1-1 朝食の習慣化	1-2 食事バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元食材・郷土料理	2-2 進和食文化慣化の理解促	3-1 の地元食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境負荷の小さい食	4-1 ことその他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ 的・一體的な組織横断	ウ 時代へデジタル化への対応	
49	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	Wa ! わあ祭り	組合員 生産者 一般市民	・生産者、組合員、職員が一緒になって楽しみながら交流するお祭りをオンライン企画を主体として実施。	11/2卸商センターサンフェスタで開催 生産者50団体、実行委員会ブースを含め60ブースが出展し、生産者との交流を楽しんだ。	11/1卸商センターサンフェスタで開催予定					○					○	○	○	○	
50	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	産地応援し隊	組合員 生産者	・産直産地からの援農依頼を受け、登録している組合員から援農活動参加者を募る。	・登録者数223人 ・活動日数48日	前年度同様の活動を計画					○					○	○	○	○	
51	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	農業体験の実施	組合員の親子	・大郷のあいコープ交流田は、組合員が年間通じて田んぼに通い、田植えから脱穀までを体験する。ふゆ水田んぼにして3年目となり、東北大学の学生の協力を得て生物多様性の水位を調査継続している。 ・七郷の「無農薬にトライ」の交流田も、組合員が年間通じて生産者と農業を行い収穫を目指す。 ・はさま自然村の生産者による指導の下バケツで稻を育てる「バケツ稻選手権」では街中に住む組合員も米づくりの体験をすることができ、大切な食育活動の一つ。産地見学も実施。 ・天童トライりんごオーナー（天童果実同志会）6回	・大郷ふゆ水田んぼ（大郷みどり会）6回 ・七郷トライ田んぼ（七郷みつば会）5回 ・バケツ稻選手権（はさま自然村）3回 ・天童トライりんごオーナー（天童果実同志会）6回	前年度同様の活動を計画					○	○	○				○	○	○	○
52	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	PB商品「あいシテル」を中心とした商品学習	組合員	① 10地区委員会がそれぞれ地場生産者の中からタイプ先を決め、一年を通して農作業体験を通して交流と学習の活動し、PB商品「あいシテル」の特徴や理念を学ぶ。また、組合員交流会などの場でPB商品の学習会を開催。学んだことをPBガイドブックにまとめ、また、地区ニュースで組合員に伝える。	・10回開催 ・6回の学習会213人参加	前年度同様の活動を計画					○			○			○			
53	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	魚食プロジェクト	組合員	魚離れする人が増える中で、魚食を見直し、海の資源を見つめなおすために商品の選定や生産者交流を行う。	・魚食を推進する新聞「魚食新報」の発行 ・4/25生産者を招いての学習会開催 ・12/7・3/1石巻魚市場見学	美味しさや産地、加工品の場合は加工方法などを選定材料に、あいコープの水産商品から「魚プロ認証」をもつ商品を決めるための選定会を行う。		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
54	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	これからの養豚プロジェクト	組合員	あいコープの産直肉事業を通して、畜産（特に養豚）について学び、安全な食肉、持続可能な畜産について理解を深める。	・組合員のミートセンター（食肉加工場）見学2回 ・組合員による商品開発への参画（生ソーセージ開発プロジェクト）	産直産地の養豚場で使用する飼料の国産化の開始に伴い、組合員が養豚場や飼料となる子実トウモロコシの産地を訪れ見学、生産者交流を行う。				○			○		○			○		
55	継続	宮城県生活協同組合連合会	あいコープみやぎ	我が家の方募集	組合員	組合員が家庭であいコープ商品をどんな風に調理して食べているかを募集し、ニュースや機関紙などで紹介することで、作る楽しみを広げる。	産直肉の利用促進も兼ねて、豚肉レシピを募集。	PB商品の「我が家流の食べ方募集」を行っていく。		○		○							○	○	○	○
56	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	はやね・はやおき・あさごはん運動の推奨	一般市民	店舗セールチラシや共同購入のチラシで朝食特集。朝食の大切さの啓発。	店舗セールチラシで年4回、4月4日・8月18日・8月22日・1月6日に朝食レシピ提案を実施		○	○		○						○	○	○	○	
57	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	子育てひろば&離乳食栄養相談会	子育て世代の親	開催時間内なら出入り自由、参加費無料、申込不要のみやぎ生協の「子育てひろば（親と未就園児対象）」内で、管理栄養士に個別で聞ける相談会。子育て中の方が離乳食や子どもの栄養に対する不安を取り除き安心して離乳食や子育てに取り組めるようにします。	管理栄養士・谷口あき子さんを講師に一人づつ面談しました。 国見ヶ丘店・錦町店・ウイズで開催し、親子8組が参加しました。	子育てひろば &離乳食相談会は継続。新規はなし。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針			
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他				
		団体	実施主体【任意】						1-1 朝食の習慣化	1-2 食事のバランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元食材・郷土料理	2-2 進和食文化の理解促進	3-1 の地元食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境負荷の小さい食	4-1 ことの他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ ー体的組織横断	ウ 時代へデジタル化的な	
58	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	学習会	一般市民	高齢者の食生活、フレイル予防の啓発・情報提供	開催無し。	開催無し。		○	○	○	○							○	○	
59	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	学習会	一般市民(成人)	①健康寿命の延伸に口腔ケアが欠かせないことを学ぶ(会場・オンライン) ②腸内環境を整える重要性について学ぶ(会場・オンライン)	②2月12日に学習会「腸と脳の健康革命～認知機能を高める腸内環境への食からのアプローチ～」を開催。201人(会場52人、オンライン121人(サテライト4会場含む)、見逃し配信28人)が参加。講師は仙台白百合女子大学人間学部健康栄養学科教授の相澤恵美子さん。	開催無し。			○								○	○	○	○
60	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	食生活提案の展開	一般市民	みやぎ生協は「食」をだいじに健康づくりをすすめます。食生活提案をすすめる4つの基本テーマ(I.楽しく、おいしく食べよう。II.バランスよく食べよう。III.食に興味を持とう。IV.食の安全に関心を持とう)に沿った「みやぎ生協の食生活提案」を広めます。	BDHQ (Brief-type self-administered Diet history Questionnaire) 簡易型自記式食事歴法質問票を用いた連続講座を開催。桜ヶ丘地域包括支援センターと共に全4回の講座には11人、荒井店集会室で行なった2回講座には9人が参加。食習慣分析と体質改善に向けた具体的なアドバイスを得て、参加者は食習慣改善の成果をあげた。	BDHQ (Brief-type self-administered Diet history Questionnaire) 簡易型自記式食事歴法質問票を用いた学習	○	○			○	○	○	○	○		○	○	○	
61	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	食育活動委員会の活動	一般市民	・食育に興味のあるメンバーが登録 ・みやぎ生協の食育活動や他の食育活動を学び、メンバーに情報発信する。	2024年度は休止	開催無し。		○										○	○	○
62	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	親子料理教室・大人のお魚教室開催	親子・成人	・食育NPOおむすび、株式会社仙台水産と共に開催。宮城の旬の魚介類を素材に調理や学習の援助を実施。 ①「お魚がきっと好きになる料理教室」年1回小学生の親子15組30名募集 ②「さばいて作る大人のお魚教室」年4回各回20名募集	①12組24人参加。 ②20人参加。	①「お魚がきっと好きになる料理教室」年2回 ②「さばいて作る大人のお魚教室」年2回			○			○	○					○	○	○
63	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	5 A DAY食育体験ツアー	小学生 幼児(5歳児)	①2005年から実施している小学生向け「5 A DAY食育体験ツアー」は、店舗の集会室や売り場を活用して行う。買い物ゲームやサラダ作り見学を交えた食育の授業を5 A DAY食育インストラクターを講師に行う。 ②2018年から実施している幼稚園向け5ADAY「たべるのおはなし教室」は、店舗の集会室や売り場を活用して行う。買い物ゲームやクイズを交えた食育の授業を5 A DAY食育インストラクターを講師に行う。	①県内10小学校で26回実施し、766人の児童が参加。明石台店で親子対象で行い、親子5組10人、古川南店で放課後等デイサービスPOCCO大崎西の児童・生徒向け行い、23人が参加。 ②7園125人参加。	①県内10小学校で26回実施し、766人の児童が参加。明石台店で親子対象で行い、親子5組10人、古川南店で放課後等デイサービスPOCCO大崎西の児童・生徒向け行い、23人が参加。 ②7園125人参加。	○									○	○	○		
64	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	日本型食生活提案	一般市民	「つどい」などで日本型食生活について学習	2024年度は開催なし	11月30日弁当の日～「めんどくさい」は幸せへの近道映画上映会				○	○	○					○	○	○	
65	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	地場商品の普及活動の実施	一般市民	「めぐみ野」品(産直品)、「めぐみ野」米の普及活動の日を設定し、普及活動に取り組む。	①生産者、関係者、メンバーによる2つのおすすめ活動を実施。「めぐみ野」米のおすすめは、のべ55店舗でおにぎりやノベルティを配りながら実施。「めぐみ野」品の月度重点商品のおすすめ活動は、のべ12店舗でレシピを配りながら実施。 ②お米の普及と「めぐみ野」米の良さを伝えるため、「めぐみ野」交流集会で「めぐみ野」米のパックご飯を提供。「週にお茶碗もう一杯」の取り組みとして、「ごはんのおとも選手権第二弾を開催し、4、532票の投票がありました。	①生産者、関係者、メンバーによる2つのおすすめ活動を実施。「めぐみ野」米のおすすめは、のべ55店舗でおにぎりを配りながら実施します。「めぐみ野」品の月度重点商品のおすすめ活動は、のべ14店舗でレシピを配りながら実施。														

No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針				
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他					
		団体	実施主体【任意】						1-1 朝食の習慣化	1-2 食事バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元食材・郷土料理	2-2 進和食文化の理解促進	3-1 の地元食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境周知の小さい食	4-1 ことその他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ ー体的組織横断	ウ 時代へデジタル化への対応		
66	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	食育体験ツールの提案	一般市民	野菜の花から野菜の名前を当てたり、どこを食べるかなどを考えることで食を考えるツールや、みやぎ生協の紙芝居を提案。食育の学習教材として「みやぎの旬」カード、「大地の恵み31・海の恵み38選」を貸し出し、様々な場面で活用できるよう取り組みを広げる	開催無し。	隨時お申し込みを受け付け							○			○	○	○	○		
67	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	産地見学会・交流会	一般市民	①みやぎ生協の産直ブランド「めぐみ野」の美味しいやこだわり、生産者の思いを現場で体感できる『「めぐみ野」産地見学』を開催 ②バイヤーや関係者が講師となって「めぐみ野」品の特徴を紹介する「めぐみ野」学習塾、生産者が店舗の集会室でメンバーと交流する「めぐみ野」ミニ交流会を開催 ③「めぐみ野」の産地とメンバー集会室をリモートでつなぐ交流会を開催	①12エリアで計9回開催。 メンバー代表が青森県のほたて・しじみ、北海道の玉ねぎ・馬鈴薯、南三陸の銀鮭・めかぶ、角田市の牛乳・米・梨、登米市の日高見牛、山形県のりんごの産地を視察 ②学習塾は61回、ミニ交流会は3回開催 ③1回開催	①13エリアで計13回開催。 エリアでトマト・長ネギ・秋野菜・きゅうり・いちご・生梅・桃・梨・落花生・ブロッコリー・干しがき・ヤーコンの産地を視察計画 メンバー代表が、瀬戸田レモン・天童サクランボ・石巻野菜・鳴子牛乳・えのき・あぶらげ原料・牡蠣を視察。 ②学習塾は46回、ミニ交流会は5回開催 ③2回開催予定トマト・しいたけ								○			○	○	○	○	
68	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	生協と生活者が一緒に稻を育てる	一般市民	①バケツ稻栽培コンテスト メンバーが家庭で稻を育てる体験をする。17店舗で開催。苗配布とコンテストの2回参加。栽培セットとマニュアル、日誌を配布。 ②田んぼの学校 産地で春に田植え体験、田んぼの生き物調査、秋には稻刈り体験を実施。各回で申込み。 ③わが家の味噌作り 田尻に圃場を借りて米を栽培したり、生産者の畑で種まきや収穫作業を行う。最終的に自分たちで育て選別した大豆で味噌を作る。全8回。	①17店舗で481家族にバケツ稻栽培キットを配布 ②15家族登録参加 ③16家族登録参加	①17店舗で393家族にバケツ稻栽培キットを配布 ②13家族登録参加 ③20家族登録参加							○	○	○	○	○	○	○		
69	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	J Aみやぎ仙南「めぐみ野」ねぎ収穫体験	メンバー家族	ねぎ圃場でねぎの抜き取りの収穫体験を行いながら生産者と交流	開催なし	開催なし						○	○	○			○	○	○		
70	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	地場の原料を使用した加工品の開発	一般市民	・宮城県産品を利用しての商品開発を継続して行う ・東北地方の震災復興と地域振興を目的に立ち上げた新ブランド「古今東北（ここんとうほく）」は東北6県からえりすぐりの食材、加工品など開発・発売。	2024年度末現在で315品目 (新発売商品として●●品販売)								○	○	○			○	○	○	
71	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	コープフードバンク	一般市民	お取引先の食品企業等から余剰食品の無償提供を受け、社会福祉に寄与する団体・組織等へ無償で提供することを通して、食品の無駄をなくすとともに、だれもが安心して暮らせる地域社会づくりをすすめる。	・受入量：128.2t（昨年より34.7t増） ・提供量：122.8t（昨年より12.8t増） ・食品提供企業・団体数：159団体 ・食品等を提供する施設・団体数：413団体（昨年より9団体増） ・法人サポーター：76社（昨年より5社減）	昨年度3社からスポットで43.7t程受入したので、今年度は70%の計画量にしました。 ・受入量：90t ・提供量：86t ・食品提供企業・団体数：160団体 ・食品等を提供する施設・団体数：418団体 ・法人サポーター：76社									○			○	○	○	○
72	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	食品表示の知識普及、活用の推進	一般市民(成人)	健康食品と称して、あたかも症状を緩和させるかのように宣伝し、販売されている機能性表示食品は医薬品と違うことを認識することが重要であること、また、医薬品との併用で健康に悪影響を及ぼす恐れがあることなどを学習します。（会場・オンライン）	「健康食品と医薬品のあぶない関係」と題した学習会に85人（会場、個人視聴、サテライト4か所）が参加。						○					○	○	○	○		

No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針				
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他					
		団体	実施主体【任意】						1-1 朝食の習慣化	1-2 食事バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元食材・郷土料理	2-2 進和食文化の理解促進	3-1 の地元食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境負荷の小さい食	4-1 ことその他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ ー体的組織横断	ウ 時代へデジタル化新たな		
73	継続	宮城県生活協同組合連合会	大学生協	食生活アンケートの実施と課題推進委員会の開催	大学生	東北地区の大学生協で組織活動に取り組んでいる学生が集まり、大学生の食生活について考え、大学生協の食育推進をどうするか検討する。	東北の13の大学生協から2795名分のアンケートを回収	前年度同様の活動を計画									○		○	○	○		
74	継続	宮城県生活協同組合連合会	大学生協	ミールプラン推進	大学生	食堂利用定期券「ミールカード」により、「食費を切り詰めることのない健康的な食生活」を提案する。	2024年度の年間利用者（新入生）は東北全体で4489名	前年度同様の活動を計画	○	○									○	○	○		
75	継続	宮城県生活協同組合連合会	みやぎ生協	コープフードドライブ	一般市民福祉施設・困窮者支援団体・こども食堂	各エリアのエリアサポーターが、食品の寄付のよいかけから地域の中で食品を必要としている団体とともに食品を贈呈するまでを行う。食品ロス・エシカル消費などを実践することに繋がることを考慮して、本部職員も実施。	各エリアの取り組み：52店舗のべ60エリアで80団体へ8、363食寄付。 本部職員：7回実施、7団体へ3、596食を寄贈。	今年度も実施				○							○	○	○		
76	継続	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	-	MELONフェスタ	一般市民（親子連れ歓迎）	公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）が、衣食住の3つのテーマで“まるごとMELONなくらし”を提案します。気軽に体験できるワークショップや展示を通して、日々のくらしをサステナブルにするモノやコトを集めてお待ちしています。	2024年7月に「MELONフェスタ2024（第28回会員と市民のつどい）」にて、一般市民を対象に、くらしをサステナブルにする衣食住のモノやコトを提案するイベントを開催しました。（参加者数200名） ステージでは、尚絅学院大学の渡邊千恵子教授から「SDGsとエシカル消費」をテーマに、サステナブルな商品の選び方のコツ、お買い物の事例などをご紹介いただきました。 ブースでは、みやぎ生協による「エシカルーだれかの笑顔につながるお買い物」や仙台市環境局家庭ごみ減量課による「どう減らす？食品ロス～楽しみながらできるひと工夫～」、自然農場 風天による「固定種・在来種の旬野菜の限定販売」など、行動に移しやすい内容をご紹介しました。	「MELONフェスタ2025」にて、一般市民を対象に、くらしをサステナブルにする衣食住のモノやコトを提案するイベントを開催します。									○	○	○	○	○		
77	継続	仙台農業協同組合	-	J A 仙台食農教育プラン 親子農業体験の開催	一般市民	○親子農業体験「ふあむふあむ」と題し、参加者を募集し実施。 ◆園芸：枝豆収穫体験 ◆果樹：梨狩り体験 ◆園芸：ねぎ収穫体験	8月枝豆収穫体験 6世帯17名 10月梨狩り体験 7世帯21名 1月ねぎ収穫体験 7世帯22名	○農業体験「ふあむふあむ」と題し、参加者を募集し実施。 ◆園芸：枝豆収穫体験 ◆果樹：梨狩り体験 ◆園芸：ねぎ収穫体験											○				
78	継続	仙台農業協同組合	-	J A 仙台食農教育プラン 学童農園	小学生	○農作業体験（地区青年部が主体となって実施） ◆ 田植え 富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、七郷小、荒井小、国見小、大沢小 ◆ 稲刈り 馬場小、富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、七郷小、生出小、大沢小 ◆ バケツ稻作栽培 国見小 ◆ さつまいも・里芋 播種・収穫 聖クリストファ幼稚園 ◆ 枝豆播種 荒井小	田植え体験： 536名 稻刈り体験： 536名 播種体験： 69名 定植体験： 69名 収穫体験： 69名 計 1,279名	○農作業体験（地区青年部が主体となって実施予定） ◆ 田植え 富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、七郷小、荒井小、国見小、大沢小 ◆ 稲刈り 馬場小、富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、七郷小、生出小、大沢小 ◆ バケツ稻作栽培 国見小 ◆ さつまいも・里芋 播種・収穫 聖クリストファ幼稚園 ◆ 枝豆播種 荒井小													○		
79	継続	仙台農業協同組合	-	J A 仙台食農教育プラン 豆腐づくり講座	小学生	○地場産大豆を使って豆腐づくりを指導 1回35人前後で3時間ほどの講座（750gの大さな大豆使用） ◆今年度も募集し参加校を募ります。	9校にて講習を開催し、467名の生徒が参加されました。	○地場産大豆を使って豆腐づくりを指導 1回35人前後で3時間ほどの講座（750gの大さな大豆使用） ◆今年度も募集し参加校を募ります。									○		○				

No	新規・継続	担当		事業名	対象者	事業内容	R6年度実績	R7年度計画	★推進の視点										★推進方針		
									1 健康				2 食文化		3 環境			4その他			
		団体	実施主体【任意】						1-1 朝食の習慣化	1-2 食事バランスのよい	1-3 健康な歯と口の維持	1-4 安全な食生活	2-1 の地元食材・郷土料理	2-2 進和食文化慣化の理解促	3-1 の地元食材・旬の食材	3-2 食品ロス削減	3-3 品環境負知の小さい食	4-1 ことその他食育に関する	ア ル多様なライフスタイル	イ ー体的組織横断	ウ 時代へデジタル化新たな
80	継続	仙台白百合女子大学	-	食育紙芝居またはエプロンシアター	乳幼児との親	仙台白百合女子大学にて食育紙芝居またはエプロンシアターの実施 また人間発達学科の学生（保育士希望）に参加乳幼児をみてもらい、親に乳幼児期の栄養や行事食について講義する	実施日がインフルエンザ流行と重なり参加者がいなかったため実施できなかった	実施日を考慮し昨年度の内容を実施したい	○	○			○		○	○		○			
81	新規	宮城大学	-	健康食品との上手な付き合い方に関する講演	中学生、その保護者	ダイエットや筋トレなどに関心が高まり、かつ、自らの意思で食品の購買摂取を始める中学生とその保護者を対象に健康食品の意味や食生活における位置づけなどを解説し、上手な付き合い方を考えるきっかけを提供する。	—	10月、1回、70人程度	○	○		○							○	○	
82	継続	宮城大学	宮城大学食産業学群	大学生に向けた食育の推進	大学生	食育関連の授業や研究室ゼミを通して、食に関する知識を提供して意識を高め、学生が自分自身の食生活を見直し、改善することを促す。	2年生：年5回、約100名 3・4年生：月3回、10名程度	2年生：年5回、約100名 3・4年生：月3回、10名程度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
83	継続	宮城大学	-	高齢者の地域の共食の場を創出等による生涯を通じた食育の推進	高齢者	地域課題として高齢者を対象とした生涯を通じた食育を推進することが重要である。宮城大学（食産業学群）では、近隣地区的町内会等と連携して、共食、フレイル予防、農業体験、地域の食文化の維持継承を組み合わせた地域ぐるみの取り組みを行う。	太白区人来田学区町内会の高齢者：年10回、200名程度	太白区人来田学区町内会の高齢者：年6回、100名程度		○			○	○				○	○	○	